

● WELL 認証プラチナ評価につながった

「イノベーション」カテゴリ内の「WELLのイノベーション」の取り組み

ダイキン工業株式会社	
●低酸素フィットネスルーム導入によるオフィス利用者の健康増進やコミュニケーション促進	
<p>ダイキンの『低酸素システム OXORA (オクソラ)』を用いて、オフィス内に酸素濃度を約 15% (標高 2500m 相当) に下げた「低酸素フィットネスルーム」をつくり、そこでのトレーニングを通じてオフィス利用者の健康増進を図る取り組みです。低酸素空間では、短時間の運動や仕事をしながらの手軽な運動でも、筋力アップ、持久力向上、美容、ダイエット、睡眠の質向上などの健康増進効果が期待できます。今後は、低酸素空間をデスクワークや WEB 会議の場としても活用し、通常業務における健康増進の可能性も検証する予定です。</p>	
●画像生成 AI を活用したオフィス利用者のコミュニケーション促進や周辺地域との関係性強化	
<p>季節やオフィス周辺の天気、その日のニュースなど、日々変化する情報をもとにして情緒的な風景画などを AI で生成し、室内のモニターに表示する取り組みです。オフィス利用者の興味を引きコミュニケーションの話題を提供するため、『point 0 marunouchi』を利用している企業に関連したニュースを自動的に選定したり、様々な画風を用いたりするなどの先進的な工夫を盛り込んでいます。オフィス利用者同士のコミュニケーションを活性化したり、地域への愛着を育んだりすることを通じて、コワーキングスペースをより有効かつ快適に活用できるようにするための試みです。</p> <p>この技術はダイキンと大阪大学が共同開発したもので、今後は、オフィス空間以外での活用の可能性も模索します。</p>	
●会議室内における感染症リスクやアレルギー発症リスクの見える化と低減	
<p>オフィス内の全会議室に設置したダイキンの『UV 加湿ストリーマ空気清浄機』で空気中のウイルスや花粉などのアレルゲンを捕集するとともに、空気清浄機の集塵フィルターに付着したホコリを大阪大学に持ち込んで成分を分析し、会議室内に浮遊するウイルスや菌の量や種類を特定する取り組みです。また、ホコリの分析結果に応じて、必要な場所に空気清浄機を移動させたり新設したりすることで、オフィス利用者の安全性と安心を高める試みです。</p>	

株式会社丹青社

●実証実験に基づくワークプレイスにおけるアート導入によるオフィス環境のアップデート

ワークプレイスにおけるアートの配置について、4 回の実証実験を実施。人感センサーや気分測定システム、アンケートをもとに分析した結果をエビデンスとしてアートの導入に活用することで、オフィス利用者の目的に合わせた環境構築を可能にし、生産性向上と精神的充足を提供しています。アートによるワークプレイスの快適性向上にとどまらず、緊張を強いられやすい WEB 会議や集中すべき作業など、業務内容やその時々気分、嗜好に応じて選択すべきである個別の環境をアップデートし、安心・リラックス、やる気、クリエイティビティといった価値向上に寄与しています。



●インタラクティブ情報閲覧ソリューション「VisualTiles」によるコミュニティの拡張、活性化、共創支援

直感的で快適な操作が可能なインタラクティブ情報閲覧ソリューション「VisualTiles」は操作が簡易であり、誰もが自然と閲覧し、施設利用者に point 0/point 0 marunouchi を紹介できます。多言語対応もしており、日本語を理解できないゲストも情報を取得でき、心理的安全性を高めています。コミュニティの多様性を広げるとともに、コミュニケーションの契機を与え、コミュニティを拡張、活性化させることで、交流やその先にある共創を支援しています。



●AI を活用したナレッジマネジメントツール「saguroot」による参画企業の相互理解向上およびコミュニケーションの促進

AI を活用した横断的な資料の検索を通じて、社内に眠っている価値ある情報の活用を促すナレッジマネジメントツール「saguroot」。資料内のテキストや画像を含めた全文検索が可能で、検索したキーワードに対する AI が判定した関連度によるソート、AI による自動的なタグ付け、要約の生成までを実現。情報を直感的かつ横断的に利用者に提供することができ、コミュニティの生産性向上に寄与。point 0 における企業同士の相互理解とコミュニケーションの促進を実現します。

